

心理学と心理的支援

問題 7 事例を読んで、次のうち、現在のAさんに生じている状況を説明する現象として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Aさん(25歳)は、1年半前、バスの中で息苦しくなり、このまま心臓が止まってしまうのではないかと恐怖に襲われる経験をした。その後、バスに乗ると強い恐怖を感じるようになってしまい、バスに乗れなくなってしまった。病院を受診したところ、身体的な異常は認められなかった。しかし、現在では電車などのバス以外の乗り物にも恐怖を感じるようになってしまった。

- 1 強化
- 2 消去
- 3 般化
- 4 弁別
- 5 馴化
じゅんか

問題 8 次の記述のうち、確証バイアスが生じている事例として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者が集団活動を拒否する理由として、活動の魅力が低いことではなく、その利用者が集団活動を嫌いな人であるからと考えた。
- 2 感染症対策を特にしなくても、自分は感染しないだろうと楽観視してしまった。
- 3 利用者の転倒事故が起きた後に、前から事故が起きそうだったとわかっていたと発言する人が何人か現れた。
- 4 ちょっと嫌いな人だという第一印象をもった相手について、いやな行動ばかりが目について、ますます嫌いになってしまった。
- 5 自分の主張は多数派だと考えていたが、実際にアンケート調査をしたら賛成する人は少数であり、意外だった。

問題 9 次の記述のうち、1歳頃の子どもにおける一般的な言語発達の状況として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「アー」, 「クー」といった喉を鳴らすような発声をするようになる。
- 2 「バババ」といった明瞭な音を発声するようになる。
- 3 「ママ」, 「マンマ」などの1単語を発するようになる。
- 4 「パパ ダッコ」, 「コレ ワンワン」などの2単語を文のように話すようになる。
- 5 「ボク ハ イヤ」などの助詞を使った文を話すようになる。

問題 10 次の記述のうち、アントノフスキー(Antonovsky, A.)が定義した首尾一貫感覚(SOC: Sense of Coherence)の説明として、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 疾病リスクを特定し、その低減を目的とした理論の一つである。
- 2 自分に起こる出来事や状況が理解可能であり、予測可能であるという感覚を含んでいる。
- 3 汎適応症候群の一つとして経験される感覚である。
- 4 困難なことが起きたら、自分には対処できないというあきらめの感覚である。
- 5 自分の人生や自分が経験することには意味があるという感覚を含んでいる。

問題 11 事例を読んで、A社会福祉士の対応に関する次の記述のうち、「動機づけ面接」の方法を用いて、クライアントのデイケアへの参加の動機づけを高める対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Bさん(40歳, 男性)は、うつ病であったが症状は軽快し、2週間前から復職プログラムを実施する精神科デイケアに通っている。しかし、これまで10日のうち遅刻が8日、欠席が1日であった。デイケアスタッフのAがBさんと面談することとなり、Bさんの話を傾聴すると「毎日、遅刻しないで参加したいが、一方で参加したくない気持ちもあり、アラームで目が覚めてからベッドでぐずぐずしてしまい、遅刻してしまった」と話した。「二つの気持ちの間で揺れているのですね」と応答した後で、Aは、Bさんが目覚めた後に早めに行動することへの動機づけを高める働きかけを試みることにした。

- 1 「もう少し早く寝るとよいと思いますよ」
- 2 「なぜベッドからなかなか起きることができないのだと思いますか」
- 3 「そのことばかりを考えていても仕方ありません」
- 4 「このまま遅刻が続くと、復職は難しくなってしまいますよ」
- 5 「目が覚めて、すぐに行動することができたら、どんな良いことがあると思いますか」

問題 12 次の記述のうち、発達障害のある A さん(10 歳, 男性)に対して、応用行動分析(A B A : Applied Behavior Analysis)に基づく支援として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- 1 A さんの多動の背景には、無意識の欲求があると考え、自由連想法を行う。
- 2 A さんの支援に関わる職員に生じている逆転移への対応を優先する。
- 3 A さんの身体に硬さが現れているようであれば、リラクゼーションを行う。
- 4 A さんの家族を対象としたカウンセリングを行う。
- 5 A さんの行動と A さんの支援に関わる職員の対応との関連性について明らかにする。